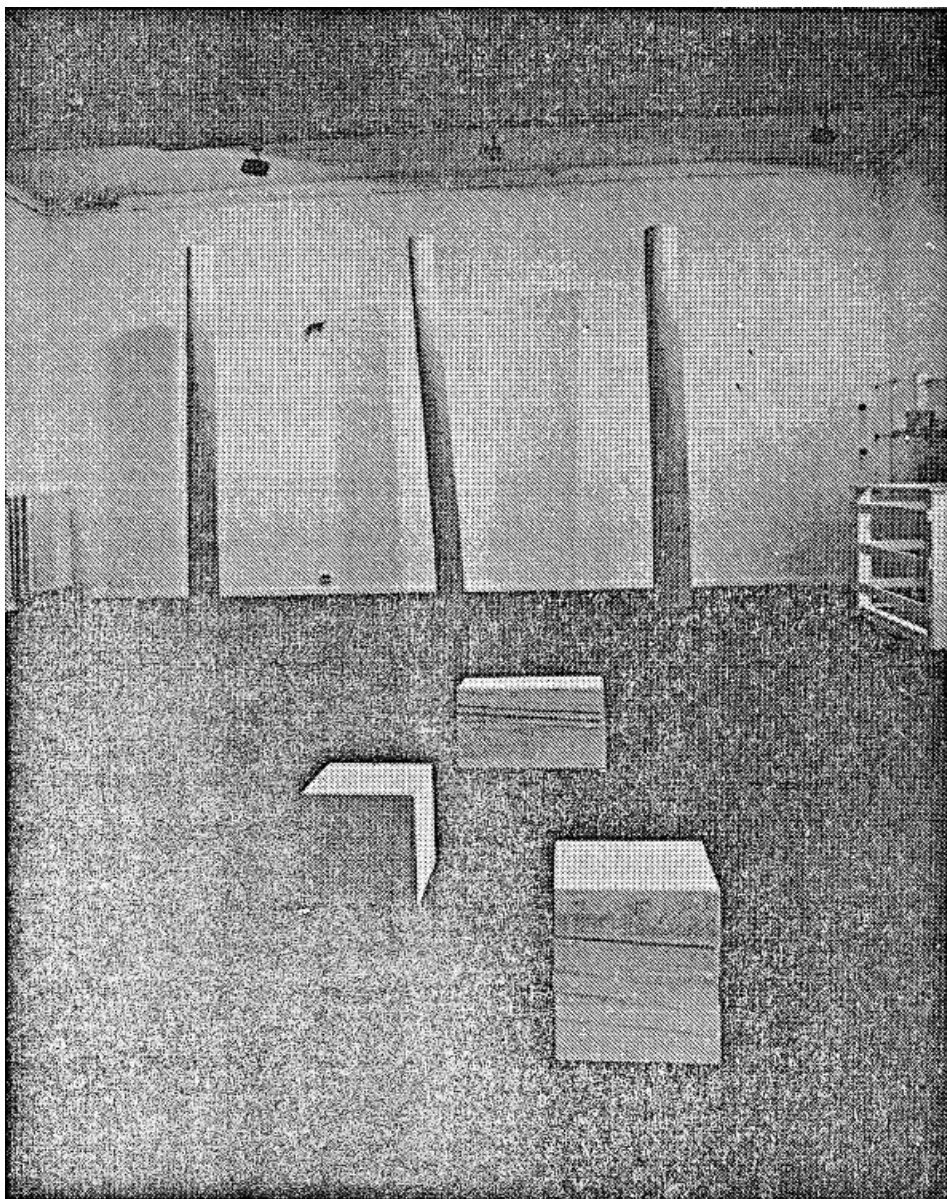




美術

**エレガンスとシンプルさ
日本の現代美術**



ハーグのヌーヴェル・イマージュの角永和夫による木の造形
(写真 Bas Roodnat)

展覧会：現代日本美術。8月30日まで
ギャラリーヌーヴェル・イマージュ, Westeinde 22,
The Hague.

火曜日 から 土曜日 11 a.m. to 5 p.m.

文・BAS ROODNAT

ハーグ、7月9日-この問題の教育を受けていない道。日本の芸術について通常知られていることは、宗教、歴史、伝統に由来するあらゆる種類のモチーフが高度に様式化された形で存在するという事です。簡単。ネスと透明度はミツバチの特徴です。視覚芸術の例。特に第二次世界大戦以来、西側と多くの文化的つながりを維持してきたこのアジアの国の人々。美しさと洗練さは、ここで印象に残りますが、日本ではそれらの境界が非常に重要な役割を果たしています。セブアートとクラフトとくん。あまり鋭く引っ張らない。それからヨーロッパとアメリカにあります：庭のデザイン、フラワーアレンジメント、そしてまたスクリプトへの芸術的な注意は意味とふりをします。世界のこちら側での対応する活動を超えています。

An 展は現在ドイツを巡回しています。

日本のパッケージングアートに捧げられた定理。

それが、あらゆる種類の商品が提示されている何百ものフォームバリエーションと呼ばれる方法だからです。この展覧会は、視覚芸術があるという疑いを裏付けています。適用された形の石は、すべての人の日常環境に大きな影響を与えます。カタログパッキング展示会はドキュメントの一部です。ハーグのギャラリーヌーベルでの展覧会の資料。les Images は、8月29日までの Westeinde 22 で開催されます。絵画、プラスチック、テキスタイルフォーム、写真、建築など、19人の現代日本のアーティストの作品が展示されます。これらの19人のうち6人が現在西部に住

んでおり、他の人は仕事が変わっていることは驚くべきことです。地球のこちら側の腰肉。一流のモデラー。日本の視覚芸術は貪欲に衰退しました。おそらく何世紀にもわたる孤立の歴史に対応して、あらゆる種類の国際的な洪水。確かに第二の私たち以来。世界大戦は突然終わりました。シュルレアリスム、ポップアート、パフォーマンスはすべて影響を受けました。すぐに集められた遺伝子。特に1950年代に東京で専攻した後。国際美術展が開催されました。

統合 NouvellesImages のホールを歩き回っている人は誰でも、これらすべての影響を認識でき、統合を確立できるという印象を受けます。西洋の概念の間。そして、シンプルさと明快さの古い日本のスタイル。この作品は直接的な魅力があり、エレガントで、主に明確な装飾的意図があります。彼らはアクセントです。形と色の。雰囲気と美味しさ。その職人技は、アプローチの遊び心に隠されています。これは特に、木の幹や木のブロックを分割して再構築し、木目やその他の成長した構造の自然な論理を実現する角永和夫の木彫りに当てはまります。大きな視覚的注意を引く。よく見て初めて、正確さを実感できます。どうやらそのようなためのネスと専門知識。簡単な介入が必要です。実行します。あなたはほぼ同じことをすることができます。おばあちゃんについて言った。菅川二郎による大理石とブロンズの彫刻：エレガントな形、つながり。彼らが完全に合うであろう庭の成長した環境に。示されている絵画は主にモノクロームと装飾的に処理された幾何学です。トリカルフィギュア。ここでも、すばやく適切な色と形のシンプルさと即時性。間違いなく、ハーグに展示されている作品には、あらゆる種類の日本の考えがあります。私たちが逃れる世界から派生した信号を隠します。それは、その作品が西洋の魂の中で弦を振動させるほど国際的であるという事実を変えるものではありません。